



4月園だより

令和5年4月1日
目黒区立原町保育園園長

入園 進級 おめでとうございます

春は出会いの季節です。園舎前の緑道では桜の花が咲き誇り、新たな出会いを喜んでいるようです。

3月には26名の卒園児を小学校へ送り出し、4月に29名の新入園児を迎えてスタートしました。新入園児にとっては、すべてが新しい生活となることで、小さな胸の中は緊張や不安、期待を抱えていると思いますが、子どもたち一人ひとりが安心して過ごせるよう、気持ちを受け止め、ゆったりと見守りながら保育をしていきたいと思ひます。在園児はひとつ大きなクラスへと進級し、新しい部屋や新しい友達が仲間入りしたことを喜んでいひます。

「聴く」という漢字は「耳・目・心」が入って成り立っています。泣くことで自分の気持ちを表している0歳児や、まだ話すことが上手にできない小さな年齢の子どもたちにも「今、何を思っているかな」と心の声に耳を傾ける余裕が大人にあると、子どもの心の中が見えてきます。私たち職員も、子どもたちの心に耳を傾けて保育をしていひたいと思ひます。保育園は子どもたちが長時間生活する場であるため“あたたかい家庭のような場”であるとともに“子ども自身が主体的に活動する場”となるよう環境を整えていくことが大切と考へていひます。また、たくさんの大人や異年齢の子どもたちと関わり、喜びや悲しさ、くやしきなどの感情体験を重ねる中で様々なことを学びながら、子どもも大人も「今日も楽しかったね」という毎日を過ごせるよう職員一同、新たな気持ちで子どもたちの成長を援助していひます。保護者の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。



- 園目標**
- * 健康で明るい子ども
 - * 友達と一緒に楽しく遊べる子ども
 - * よく見て よく聞いて よく考へて
行動できる子ども

今月の予定

- 入園説明会
- 入園進級お祝ひ会
- 春の遠足（4.5歳児）
砧緑地公園
- 全体保護者会

🌸 一年間 大切にしたいこと 🌸

看護師

子どもたちが笑顔で元気いっぱい過ごすことができるよう、健康面や安全面に配慮していひます。また、自分の体や健康に興味を持つことができるよう、健康教育にも取り組みます。

栄養士・調理

調理室のガラス窓から調理の様子を見たり、毎日の給食を通して「食」を楽しめるように進めていひたいと思ひます。子どもたちと一緒に食育活動にも取り組みます。

用務

用務の仕事は、縁の下の力持ちであると自負しておひます。洗濯、清掃、消毒はもちろんのこと、園内のあらゆることに気を配り、園児の安全と快適な環境作りに励んでいひます。

子育てふれあいひろば

地域の親子の皆さんが気軽に立ち寄り、情報交換したり、遊んだりしながら安心して子育てができるよう支援していひます。また、子育ての相談もお受けしてひます。来所した皆さんがほっとできる子育てふれあいひろばにしていひたいと思ひます。

うれしい！たのしい！原町保育園



かえで組（0歳児クラス）

一人ひとりが安心して生活できるようにスキンシップをとりながら、欲求や思いを十分に受け止めていきます。たくさんの成長を見せてくれる一年の中で、身近な物と関わり、目で見て、手で触れて五感を使って興味や関心を広げていけるように関わっていきます。

保護者の方と共に、お子さんの成長を喜びあいながら、一人ひとりの育ちを見守っていきたく思います。



いちよう組（2歳児クラス）

友達への関心も少しずつ見られるようになり、名前を呼んでみたり、同じことをして遊びたいという姿も出てきています。「じぶんで」「こうしたい」という自分の主張もこれから沢山伝えてくると思います。子どもたちの心の成長も大切にしながら「〇〇だったんだよね」と一人ひとりの思いを受け止めながら仲立ちしていきます。友達と遊ぶことが楽しいと感じていけるよう関わっていきたく思います。

ぽぷら組（4歳児クラス）

好奇心や探求心を持って友達と関わる中で、イメージを共有しながら一緒に遊ぶことが楽しくなってきます。感じたこと、思ったことを伝えようとしませんがうまく伝わらなかったり、言葉で伝えることに葛藤する姿も出てくることでしょう。使いたいけど貸してあげる、疲れたけどがんばる4歳児です。友達とぶつかりあったり励ましあいながら、一人ひとりの力が発揮できるように関わっていきたく思います。

くるみ組（1歳児クラス）

歩いたり走ったり体を動かすことが楽しくなり、行動範囲が広がっていきます。戸外で砂や草花に触れたり、様々な遊びを通して「何だろう」「やってみよう」とワクワクするような経験がたくさんできるようにしたいと思います。新しい環境の中で安心して楽しく過ごせるように一人ひとりの思いを受け止め、寄り添いながら関わる事を大切にしていきます。

さくら組（3歳児クラス）

周りへの興味関心が広がり、友達とイメージを共有して遊ぶことも増えてきます。自分の思いを主張することで、友達と気持ちがぶつかり合うこともあります。保育士が仲立ちとなり相手の気持ちにも気づけるよう知らせていきます。友達と一緒に遊ぶ楽しさや心地よさを経験できるよう援助しながら、子ども同士のやりとりを大切にしていきたいと思います。



くすのき組（5歳児クラス）

あこがれていた年長児としての生活がいよいよ始まります。遊びや行事に取り組む中で、友達との関わりが深められるよう、友達と一緒に考え、話し合い、協力する経験を重ねていきたいと思います。一人ひとりの力を出し合い、友達と協力してみんなで一つのことをやり遂げる喜びを感じられるようにしていきます。